

授業科目	作業療法評価学 1	2 学年・前期・1 単位 (30 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	太田久晶 (保健医療学研究棟 E512 号) e-mail : hisoh@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	坂上真理、中島そのみ、森元隆文		
概要	的確な内容で作業療法を展開するためには、まず、「評価」を通じて、対象者の状態、および対象者を取り巻く環境について把握する必要がある。そのため、本講義では、作業療法における「評価」についての基本的な考え方を学習し、「評価」とはどのようなものであるのか理解を深める。また、対象領域ごとの「評価」の特徴についても学び、対象者に合わせた評価内容の選択の必要性を理解する。		
到達目標	1. 作業療法における評価の目的・意義が説明できる。 2. 評価を実施する際の注意点を列挙できる。 3. 目的に合わせて評価項目を選択することができる。 4. 領域ごとに異なる評価内容の特徴を説明できる。 5. 評価結果を解釈する際の注意点を説明できる。		
関連科目	解剖学、解剖学実習、作業療法概論、作業療法評価学 2		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	筆記試験	80%	筆記試験および、レポート課題の成績を合計した点数で判定を行う。
	レポート	20%	
教科書	①能登真一 編集 [2017 年・6,380 円] 「標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第 3 版」 医学書院		
参考書	①日本作業療法士協会 監修 [2009 年・4,180 円] 「作業療法学全書 作業療法評価学」 協同医学出版社		
履修上の留意点	講義の順序が変更になる場合がある。その場合には、通知文を掲示する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	作業療法における評価の目的およびその方法について	事前：教科書 P3-10 を読む 事後：講義内容の復習	講義	太田
2	評価手段とその特徴、評価結果の解釈と治療目標について	事前：教科書 P15-22 を読む 事後：講義内容の復習	〃	〃
3	治療介入効果の判定、診療記録・報告書作成の意義について	事前：教科書 P23-32 を読む 事後：講義内容の復習	〃	〃
4	面接及び観察の実施方法と注意点について	事前：教科書 P36-52 を読む 事後：講義内容の復習	〃	〃
5	関節可動域検査と筋力検査について	事前：教科書 P72-95 を読む 事後：講義内容の復習	〃	〃
6	姿勢観察や動作分析について	事前：教科書 P138-150 を読む 事後：講義内容の復習	〃	〃
7	感覚検査と反射検査について 筋緊張の検査、協調性検査について	事前：教科書 P114-137, P151-167 を読む 事後：演習内容のまとめ及び記録	講義・演習	〃
8	ADL 評価と QOL 評価について レントゲン写真、CT 画像、MRI などによる画像評価について	事前：教科書 P213-255 を読む 事後：講義内容の復習	講義	〃

9	身体障害領域における評価の特徴について 1	事前：教科書 P274-409 を読む 事後：演習内容のまとめ及び記録	講義・演習	〃
10	身体障害領域における評価の特徴について 2	事前：教科書 P274-409 を読む 事後：演習内容のまとめ及び記録	〃	〃
11	精神障害領域における評価の特徴について 1 情報収集と面接	事前：教科書 P468-543 を読む 事後：演習内容のまとめと記録	〃	森元
12	精神障害領域における評価の特徴について 2 観察評価	事前：教科書 P468-543 を読む 事後：演習内容のまとめと記録	〃	〃
13	発達障害領域における評価の特徴について	事前：教科書 P546-600 を読む 事後：講義内容の復習	講義	中島
14	高齢期における評価の特徴について	事前：参考書(作業療法全書 P296-299)を読む 事後：配布プリントの確認、参考書(作業療法全書 P299-315)を読む	〃	坂上
15	高次脳機能障害に対する評価の特徴について 講義の総括	事前：教科書 P440-466 を読む 事後：講義内容の復習、レポート作成	〃	太田